

## 学校訪問シリーズ 25

# 臼杵市立佐志生小学校から学ぶ

学校の教育目標「『わかる』『つたえる』『ひろげる』佐志生っ子の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「言語理解力・自己表現力」と定め、各分掌主任を中心に、毎月1回「分掌振り返り」を行い、取組や数値の見直し等を行っています。

## 学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、「言語理解力・自己表現力」の育成を、校内研究と連動することで日々の学校生活においても意識していることです。例えば国語科の提案授業においても、関連する教科等や、育成を目指す資質・能力をより明確にしています。

また、学校だけでなく、「言語理解力・自己表現力」を家庭や地域と協働して行うために、学校運営協議会や健全育成会、佐志生地区振興協議会、学級懇談会において、熟議を通してそれぞれの取組の目的を共通理解しています。

今後は、取組内容によっては期間を決めて集中して行ったり、児童会に任せることで自治力を高めたりすることで、子ども達自身が成長を感じるようなやり方も検討してみたいか。また、このような素晴らしい実践について、ブロックの小学校や中学校との連携を通して深めることを期待します。

## 授業から学ぶ

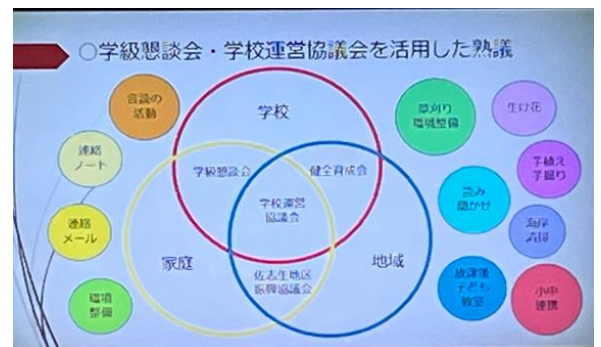
合同体育の授業を参観しました。教師は不要な指示をせずに、本時のめあてを確認したり、形成的な評価を行うことで、子ども達が自ら評価し、次の作戦を考える場を提供していました。また、作戦だけでなくルールも子ども達に考えさせることで、



NO.199 2022年10月 臼杵市立佐志生小学校

## 授業を楽しむ

勝つことは目標だけど、チームで協力することが目的だ。だから、だれと一緒にでも楽しめる。



NO.197 2022年10月 臼杵市立佐志生小学校

## 自分で動く

先生の指示で動くのではない。全体の状況を把握すると、自分の役目が見えてくる。



NO.200 2022年10月 臼杵市立佐志生小学校

## ゴールを目指す

考える。行動する。助け合う。あきらめない。努力を続けるとチャンスは必ず現れる。



NO.198 2022年10月 臼杵市立佐志生小学校

## 全力集中

攻める時も守る時も相手の動きをしっかりとみる。次の動きを予測し行動する。

よりよいゲームができ本単元全体の目標に近づく内容でした。

今後は、指導案の「振り返り」の記述については、教師が願う具体的なゴールの姿を各学年毎に示すことで、本時の「ねらい」との連動や学年の評価規準がより明確になると思いました。